



福田学長（右）からコメを受け取る学生

弘大

## 金木農場産 希望者に2キロずつ

# 学生にコメ無料配布

弘前大学は15日、コメの価格高騰に悩む学生を支援しようと、同大農学生命科学部附属金木農場産のコメの無料配布を始めた。配布場所は17日までが文京町キャンパス、18、19日は本町キャンパスで希望する学生2866人に2キロずつ提供する。

物価の高止まりなどを受け、今年度拡充した学生生活支援事業の一つ。金木農場の休耕田を活用するなどして「つがるロマン」として

「んたかく」を13、14ト生産し、うち10トを配布に振り分けた。

初日は2キロ入り8000袋を用意。配布が始まると学生が列を成し、順次コメを受け取った。同大理工学部4年の後藤雄一郎さんは「コメが高く、主食をパスタなどに変えていた。年末にかけて出費を抑えられるので、ありがたく食べたい」と話していた。配布には福田眞作学長も参加。「農学生命科学部と

金木農場の皆さんが引き受けてくれたから実施できたこと」と感謝し、「（学生が）笑顔で受け取ってくれて良かった。ぜひ新米を味わってもらいたい」と語った。（田中康貴）

この画像は、当該ページに限って“陸奥新報”の記事利用を許諾したものです。無断転載はできません。